

Evergarden

リサイクルからリデュースへ。
マイボトルを活用する
次世代の自動販売機

TRANSITION TO
A GREEN ECONOMY



An acceleration program
that continues to face business, technology, and creativity
from three different perspectives.

ABOUT

会社概要

Evergarden

ラベルレスからボトルレスへ、 マイボトル利用を促進する自動販売機



POINT 01

ペットボトル生成時におけるCO2排出をなくし、容器代・輸送代を削減。地球にもお財布にもやさしい設計。



POINT 02

センサー技術によって、マイボトルの形状を感知。形状に合わせ、液量を自動計測し注ぐ機能を有した自動販売機。



POINT 03

中立的な立場を活かし、飲料メーカーに偏りのない豊富な種類を展開。

STAGE

資金調達ステージ	N/A
サービス/プロダクトステージ	Ideation and Validation

MEMBER



Matthew Lee
Representative

スタンフォード大学ロースクールおよびカリフォルニア大学を卒業後、米政府やNPOで持続可能性施策に携わる。

COMPANY PROFILE

企業名	Evergarden
創業年	2024年
本社所在地	東京
WEB	https://www.ever.garden/



CONFIDENTIAL

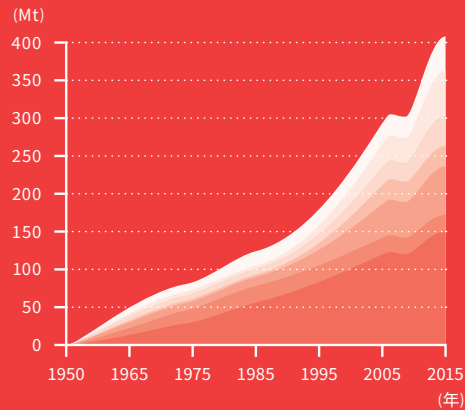
BACKGROUND

課題・背景

社会問題となりつつあるペットボトル

一次プラスチック生産量

■ その他 ■ 産業機械 ■ 電気/電子 ■ 輸送 ■ テキスタイル
■ 消費者および機関向け製品 ■ 建築と建設 ■ 梱包



増加する 生産量と廃棄問題

プラスチックを取り巻く環境問題は深刻な状況にあります。OECDの環境総局/環境政策委員会は、世界のプラスチック生産量について1950年代の約200万トンから2015年の約4.07億トンへと急上昇していると報告しています。また、廃プラスチックのうち58～62%が不法に投棄・焼却されていることも明らかになっており、最終的に海洋ごみとして海洋汚染、しいては海洋生物への生態系や人間の健康にも悪影響を及ぼす要因となっています。

参照: OECD
<http://www.oecd.org/environment/improving-markets-for-recycled-plastics-9789264301016-en.html> (和訳: CBIT)



プラスチック資源 循環促進法

現在、世界各国で気候変動への対応が求められており、日本では2022年4月からプラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律が施行されました。この法律では、2030年までに使い捨て(ワンウェイ)プラスチックの排出を25%抑制することが掲げられています。しかし、先の報告書にもあったように私たちの生活の中でプラスチックへの依存は高まる一方です。

解決へのアプローチ

Evergardenが手掛けるプロダクトは、ペットボトル削減による環境への貢献はもちろん、コスト削減や利便性など、生活者にも様々な恩恵をもたらし、持続可能な未来の実現に貢献します。

Evergardenが生み出す
“新しい価値”とは？



CONFIDENTIAL

SOLUTION

技術・プロダクト

ボトルレスを実現する 次世代自動販売機

好きなドリンクを、好きな量で。

これまでオフィスや公共空間で見かける給水機は、当たり前ではありますが水1種類のみ。Evergardenが開発するプロダクトでは、水に限らず、お茶や清涼飲料水など、30~50種類もの飲み物を提供します。スタートアップの中立的な立場を活かし、飲料メーカーに偏らず、需要に合わせたドリンクを用意することが可能です。

今持っているマイボトルも使える

Evergardenオリジナルボトルはもちろん、既に持っている場合はわざわざ買い直す必要はありません。どんなボトルでもセンサーが自動的に形状を認識し、適切な量を供給することが可能です。さらに、マイボトルにICチップを装着し自動決済を行うサービスも導入予定です。



ADVANTAGE

導入メリット

Evergarden導入におけるメリット



ペットボトルを取り巻く 環境問題に貢献

ペットボトルを使用しないことでペットボトルの生成や処理に伴うCO2の排出を抑制し、化石燃料の節約につながります。また、処理の過程で発生する海洋汚染やマイクロプラスチックによる生態系への悪影響の軽減にも貢献します。



従来の自動販売機に かかっていたコストを削減

ペットボトルを使用しないため容器代がかかりません。濃縮した原液のみの輸送で済むため、従来の自動販売機と比較し、飲料価格を大幅に抑えることが期待できます。環境負荷だけでなく、経済的な負荷の軽減にもつながります。



需要に寄り添った ドリンクの展開

スタートアップ企業ならではの中立的な立場を活かし、大手飲料メーカーに偏らないドリンクの展開を行います。消費者の需要に合わせて、飲料メーカーや街中にあるカフェのメニューも取り入れ、多様なニーズに応えます。

POTENTIAL 01

活用イメージ

ヘルスケアアプリと 連動した健康管理

#ヘルスケア #App #パーソナライズ

飲み物から健康をサポートする

Evergardenのプロダクトは、ドリンクを液量ベースで販売し、ICチップによる自動決済サービスなど、IT技術を活用しています。それらの技術を応用し、ヘルスケアアプリと連携することで、これまでにないドリンクによるヘルスケア体験を可能にします。糖分や水分摂取量をより正確な数値で管理したり、自分自身の健康状態から適切なドリンクをレコメンドする機能まで。さらに、子どもや高齢者など家族の水分摂取量を把握することで、熱中症や脱水症の予防にも効果を期待できます。

高まる健康意識をさらに加速させることでしょう。



POTENTIAL 02

活用イメージ

福利厚生にも最適な、 オフィス内自動販売機

オフィス # 福利厚生 # CSR

水分補給だけではない多様なメリット

オフィスでの飲み物が従業員の生産性や幸福に良い影響を与えることを裏付ける研究が増えてきています。

とある研究では、お茶や紅茶は、迅速な意思決定やマルチタスクに重要なワーキングメモリーの能力発揮にも寄与するという結果や、職場内のカジュアルな交流を生み出し、より強い関係を築けるなど、生産性や職場環境の面からも自動販売機の設置は大きな貢献を果たします。

中でもEvergardenの製品においては、オフィスに設置することで、水道を引きやすく、マイボトルを洗えるシンクもあるため、相性良く導入していただけます。

従業員の生産性や幸福という側面だけでなく、ペットボトル削減といった環境面からのアプローチもでき、企業のCSRにも貢献できます。



POTENTIAL 03

活用イメージ

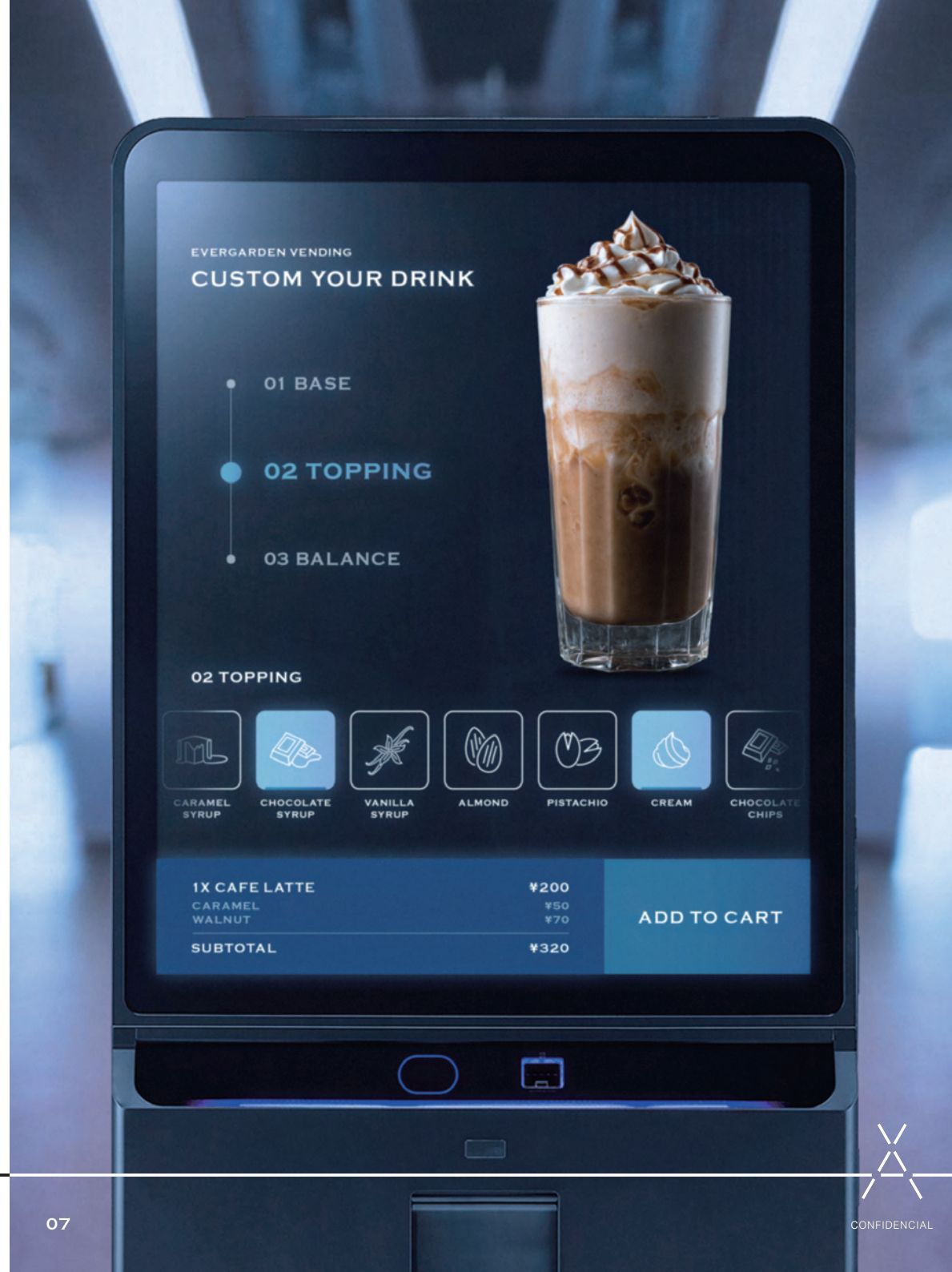
組み合わせて作る オリジナルドリンク

#パーソナライズ #オリジナルレシピ

自分だけのドリンクを作る

シロップ原液と水を混ぜ合わせてドリンクを作る仕組みとなっているため、組み合わせ方によってオリジナルドリンクを作ることができます。

各ユーザーがオリジナルドリンクを開発し、そのレシピを販売できる仕組みを構築することで、レシピ販売からの収益を享受することも可能です。



RECOMMEND

CBITからの推薦文

B

BUSINESS | 野村総合研究所 Consultant 西山実優

Evergardenの再利用可能なボトルを利用した自動販売機は、日本市場における使い捨てプラスチックボトルの削減に直接貢献します。日本は世界最大の自動販売機市場であり、Evergardenの技術は、2030年までにプラスチック包装を25%削減するという日本政府の目標達成に寄与する、持続可能なソリューションを提供します。消費者・飲料メーカー・運営会社など、各方面に対して最適なソリューションを構想しています。

TECHNOLOGY | SRI Senior Managing Strategist, Emerging Technologies Amit Mulgaonkar, Ph.D.

プラスチックの過剰使用などの重大な問題に対する最善の解決策は、高度なテクノロジーによる解決策ではなく、実用的なテクノロジーの賢明な応用である場合があります。Evergardenは、既存のパッケージをスマートに詰め替えることができるシステムを構築することで、プラスチックパッケージの使用量を削減することを目指しています。

CREATIVE | StudioDetails Brand Director 齊藤奈央

自動販売機大国と言われる日本は、約230万台もの飲料用自動販売機が設置されています。Evergarden社は、この整備された「自販機インフラ」に新たな挑戦を仕掛けています。困難な挑戦のように思えるかもしれませんが、当たり前裏に一度目を向けてみると、そこには社会変革の種が潜んでいます。Evergarden社は、私たちの文化に少しずつ変化をもたらしながら、社会と環境に影響を与え、持続可能な社会へと導く大きな可能性を秘めています。

T

C



MESSAGE FROM STARTUP

スタートアップからのメッセージ

スタジオジブリ映画を見て育った私は、いつも自然と日本を愛していました。
だからこそ私は、日本のグリーン経済への移行を支援するために
Evergardenを立ち上げることにしました。
気候変動は私たちの時代の最大の課題ですが、
日本人の知恵と努力によって、
子供や孫たちのためにこの戦いに勝つことができると私は確信しています。
共に取り組んでいきましょう！

As someone who grew up watching Studio Ghibli movies,
I have always had a love for nature and Japan.
That's why I decided to start Evergarden, to help Japan transition to a green economy.
Climate change is the biggest challenge of our time,
but with all the intelligent and hard-working people in Japan,
I am confident we can win this battle for our children and grandchildren.
Let's work together!

Evergarden Representative
Matthew Lee





※ 当資料上における画像は、合成イメージを含みます。